7 教育

分野別将来像



港区の歴史・文化・伝統を大切にしながら、テクノロジーを生かした未来へ、世界に拓かれた学びの形が育まれています。
一人ひとりの個性が大切にされ、誰もが自分らしく関わり、地域でともに育まれ、様々な学びに触れています。

- 安全・安心ないきいきしたまち
- 歴史や文化に親しむ心が育つまち
- テクノロジーで人の可能性を高めるまち







子どもたちが自分らしく学び、自ら考えながら、場所に捉われずのびのびと成長できる教育環境が整っています。学校にとどまらず、家庭や地域でも、それぞれの個性や気持ちに合わせた多様な学びの形がつくられています。教員だけでなく、保護者や地域の人々も一緒に関わるものとして広がり、互いの対話によって、信頼し合える関係が築かれています。
港区全体が子どもたちの未来をやさしく育むまちとなり、安心して安全に、楽しく学べる毎日が実現し、子どもたちは社会と関わりながら未来を共につくる力を身に付けています。

港区の歴史や文化、伝統を次の世代へと受け継ぎながら、家庭や地域コミュニティの中で思いやりややさしさが育まれています。その中で、自分の国や様々な地域のアイデンティティを理解し、大切に思う心や道徳心が養われています。
学びの場は、地域にも広がっています。図書館は身近な学びの場として活用され、公園などまちの様々な場所が気づきや発見の場となっています。企業や大学といった、港区ならではの地域とのつながりを生かし、子どもだけでなく高齢者まで、誰もが生涯を通じて自分のペースで学びを楽しんでいます。こうした学びの積み重ねが、自分たちのまちや国を思う豊かな心を育てています。

テクノロジーの力を工夫して活用することで、多彩な学びが広がり、創造性や判断力など、人間らしい力が更に高まっています。
テクノロジーの進歩は、地域と世界の距離を縮め、異文化交流を通じて、世界中の多様な文化や考え方に触れながら、世界全体を見渡す広い視野で学ぶ機会が自然と増えています。
技術が発展する中でも、スポーツや体を動かす機会が大切にされ、人の感性やひらめきがますます輝き、いつまでも元気に過ごせています。

■政策７

誰一人取り残すことなく、全ての人の学びを生涯にわたり支える

生涯にわたって心豊かに生きるためには、ニーズに応じた学習やスポーツの機会を適切に得ることが重要です。
乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じ、誰一人取り残すことのない、個々の状況に応じた多様な学びを支援します。



ポイント

学びやスポーツの機会を提供することに加え、AI 等の技術革新やグローバル化を見据え、一人ひとりが自ら学び、体を動かし、生涯にわたり成長や人とのつながりを実感できる施策を推進していきます。

成果指標

「教育」について満足している区民の割合

現状値（令和 8(2026)年度）	目標値（2040 年代）
60.5%	向上

「教育」を構成する項目	満足度
学校教育の充実	57.0%※
スポーツの推進	53.0%
生涯学習の推進	41.0%
図書サービス	71.2%
文化財の保全・継承	61.8%

※子どもがいる人を対象に集計

出典：「MINATO ビジョン策定に向けた区民等意識調査報告書（区民）」（令和 7(2025)年 8 月）を基に作成

施策体系

政策　誰一人取り残すことなく、全ての人の学びを生涯にわたり支える

- 施策①　他者を思いやり、自ら学び考え行動し、心豊かに生きる力を育む教育を推進する
- 施策②　誰もが学び、つながり、その成果を生かし合う生涯学習を推進する
- 施策③　誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみスポーツで元気になる環境づくりを推進する
- 施策④　豊かな学びを支える図書館サービスを推進する
- 施策⑤　一人ひとりが自分にあった学びを選び、安心して学び続けられる環境をつくる

関連計画

関連計画の詳細

港区教育推進計画

■施策１

他者を思いやり、自ら学び考え行動し、心豊かに生きる力を育む教育を推進する

― 目標 ―

幼児・児童・生徒一人ひとりが他者を尊重しながら主体的に学び、多様な人々と協働して未来を切り拓く力を身に付けるとともに、自分らしく健やかに成長できる教育を推進します。



一人ひとりに応じた主体的な学びを推進する「ＭＩＮＡＴＯスタイル」



グローバル社会で活躍する力を育む中学校海外修学旅行

― 現状 ―

将来の夢や目標を持つ小学生の割合は全国平均未満

将来の夢や目標を持つ子どもの割合は高いですが、小学生では全国平均をやや下回っているため、自分のよさや可能性を認識し、自らの目標に向かって主体的に学び、行動する力を育むことが求められています。



地域参画意識がある小学生の割合は全国平均未満

地域や社会への参画意識を持っている子どもは一定数いますが、全国平均を下回る状況にあるため、地域との交流や体験活動を通じて、地域の一員であることを自覚し、主体的に社会と関わる意識を育むことが求められています。



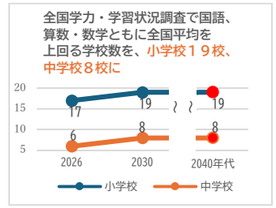
― 基本方針 ―

1　「徳」「知」「体」を育む質の高い教育を推進します

▶予測困難な時代において、一人ひとりが自分らしく心豊かに生きる力を身に付けるため、「徳」「知」「体」を育む質の高い教育を推進します。

方針

・自分や他者を大切にする心の育成
・ウェルビーイングの向上
・健やかな体の育成

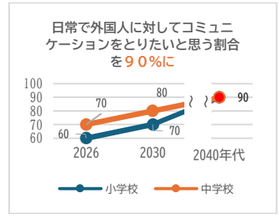


2　未来を切り拓く人材を育成します

▶グローバル化やデジタル化が進展する社会の変化に対応する人材を育成するため、自ら考え、未来を切り拓く力を育む教育を推進します。

方針

・ＩＣＴを活用した学びの充実
・理数教育やＳＴＥＡＭ教育の推進
・グローバル社会で活躍する力の育成

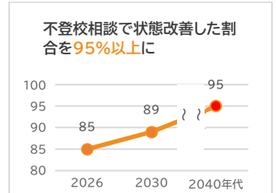


3　多様な学びに丁寧に寄り添う教育を推進します

▶誰一人取り残さない教育を実現するため、個々の進度や個性にあった丁寧な教育や、一人ひとりに寄り添った適切な支援を推進します。

方針

・「自分らしさ」を尊重した学びの支援
・障害のある児童・生徒の学びの支援
・日本語指導が必要な児童・生徒の学びの支援
・個々の理解や状況に応じた学びの支援

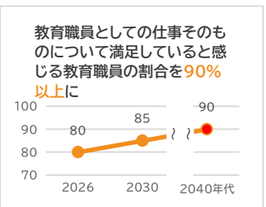


4　学びの環境整備と教育の担い手を支援します

▶子どもが安全で安心して学べる教育環境を整備するとともに、教育の担い手が働きやすい環境を実現するため、教育環境と職場環境の整備を推進します。

方針

・幼児・児童・生徒が安心して学べる環境の整備
・教員の負担軽減と働きやすい職場環境の整備の推進



【該当する計画事業】

27. 安心・安全で新しい時代の学びに対応した魅力ある教育環境の整備　P. 222

【ウェルビーイング】身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。また、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。
【STEAM 教育】STEM（Science 科学，Technology 技術，Engineering 工学，Mathematics 数学）に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で A(Arts)を定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習。

■施策２

誰もが学び、つながり、その成果を生かし合う生涯学習を推進する

― 目標 ―

年齢や国籍、障害の有無等にかかわらず誰もがともに学び支え合う生涯学習を通じたウェルビーイングの実現をめざします。



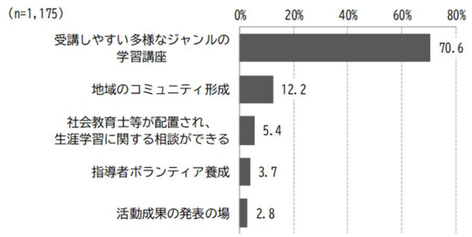
子どもセミナー事業「われら区役所たんけん隊」



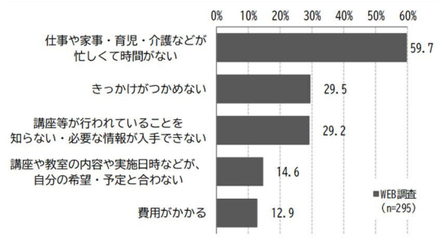
フェスティばるーん

― 現状 ―

受講しやすい多様な学習講座を求める声が多数	多様なニーズに応じた学びやすい環境づくりが課題
受講しやすい多様な学習講座を求める割合が 70%を超えており、ニーズに応じた講座の充実が求められています。	仕事や家事・育児・介護などにより時間がないことが生涯学習への参加の大きな障壁となっています。



出典：港区教育推進計画の策定に向けたアンケート調査（生涯学習・スポーツ分野）



出典：港区教育推進計画の策定に向けたアンケート調査（生涯学習・スポーツ分野）

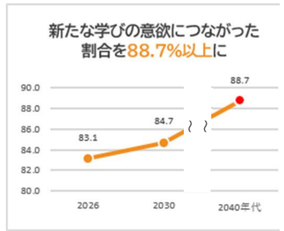
― 基本方針 ―

1　区民の多様な学びのニーズに対応します

▶誰もが、時間や場所、年齢、ライフスタイル等に左右されることなく学べる環境を実現するため、多様な学習機会を提供し、学習環境を充実します。

方針

・誰もが、いつでも、どこでも、自発的に学べる環境の整備
・様々な年代、ライフスタイルに応じた学びの充実
・子どものときから主体的・持続的に学べる機会の提供

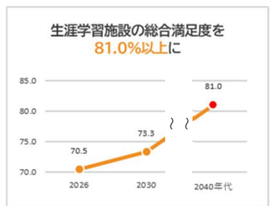


2　生涯学習施設の充実と多様な主体との連携による学びの機会を提供します

▶多くの人に学びの機会を提供するため、生涯学習施設の充実と多様な主体との連携を進めるとともに、生涯学習情報を効果的に発信します。

方針

・生涯学習情報や区の取組の積極的な発信と相談機能の充実
・多様な主体との連携・交流による生涯学習事業の推進
・身近な学びの場としての生涯学習施設の活用

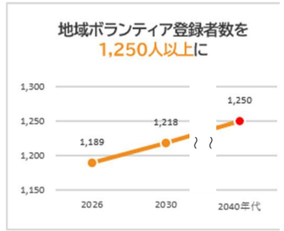


3　学びの成果を生かす取組を支援します

▶学びの成果を地域活動や学校支援等で生かす循環を促進するため、人材の発掘・育成と活躍の場づくりを進めます。

方針

・多様な主体との連携による地域学校協働活動の充実と活用の促進
・学びと活動の循環を促す地域人材の発掘・育成・活用



【地域学校協働活動】様々な知識や経験を有する地域の人材等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動。

■施策３

誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみスポーツで元気になる環境づくりを推進する

― 目標 ―

誰もが生涯を通じて身近な場所でスポーツを楽しみ、スポーツを通じた健康や生きがいづくり、人とのつながりを深めることで、ウェルビーイングの向上を実現します。



ＭＩＮＡＴＯシティハーフマラソン



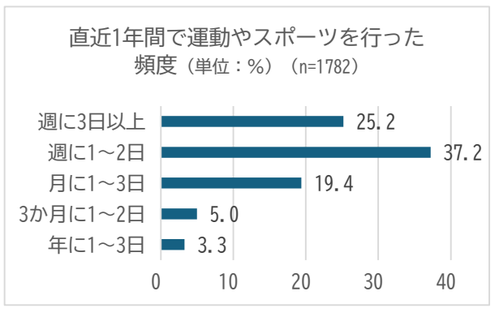
地域スポーツ教室

― 現状 ―

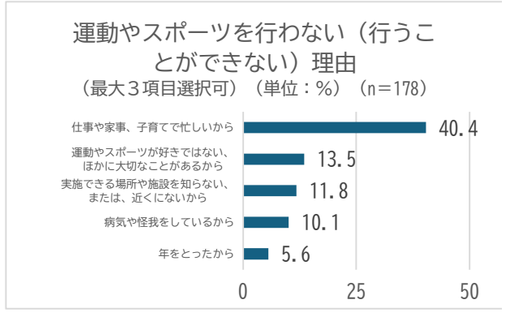
週１日以上スポーツを行う区民は６割以上	スポーツを行えない主な理由は仕事や家事、子育ての忙しさ

週１日以上スポーツを行う区民（成人）の割合は 62.4%です（令和 7(2025)年度）。令和 10(2028)年度の目標値 75%に向け、誰もが気軽にスポーツに親しめる機会を充実させる必要があります。

運動やスポーツを行えない理由は、「仕事や家事、子育てが忙しいから」が最も多くなっています。



出典：港区教育推進計画の策定に向けたアンケート調査（生涯学習・スポーツ分野）



出典：港区教育推進計画の策定に向けたアンケート調査（生涯学習・スポーツ分野）

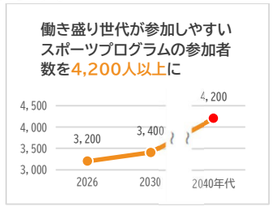
― 基本方針 ―

１　誰もが気軽に楽しみ継続できるスポーツ活動を推進します

▶年齢や国籍、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、継続して実施できるようにするため、スポーツに親しめる環境や機会の充実を図ります。

方針

・スポーツ活動に親しむきっかけづくり
・ライフステージ等に応じたスポーツ活動の促進
・スポーツ観戦機会の創出
・先端的なデジタル技術を活用したスポーツ活動の推進
・健康づくりにつながるスポーツ活動の推進

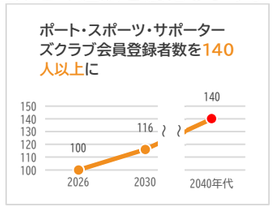


２　スポーツ活動を支援する担い手の育成と多様な主体との連携を図ります

▶スポーツ活動を継続的に支えるため、指導者やボランティア、団体等の担い手の確保・育成を進めるとともに、区民や地域スポーツ団体、学校等の多様な主体との連携を強化します。

方針

・スポーツボランティアの育成と活用
・スポーツ指導者の確保と活用
・地域スポーツ団体等の活動支援と連携の推進
・大規模スポーツ大会に向けた東京都や関係機関との連携の推進

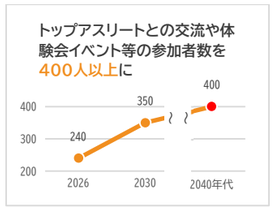


３　スポーツに身近に親しめる環境づくりを推進します

▶誰もがスポーツに身近に親しめるようにするため、区立スポーツ施設の整備・維持管理や学校施設、民間施設等の活用、情報提供の充実など、スポーツに身近に親しめる環境の充実を図ります。

方針

・区立スポーツ施設等の計画的な整備と充実
・学校施設の活用の推進
・民間施設等・区外スポーツ施設の活用の推進
・多様なスポーツ参画の場やスポーツを通じてつながる機会の充実
・スポーツ情報の提供



【該当する計画事業】

25.（仮称）北青山三丁目地区スポーツ施設の整備　P. 220
26. 芝浦中央公園運動場大規模改修　P. 221

■施策４

豊かな学びを支える図書館サービスを推進する

― 目標 ―

図書館の専門性や多様な知識資源を生かし、一人ひとりの興味や関心を育み、主体的な学びを支える図書館を実現します。



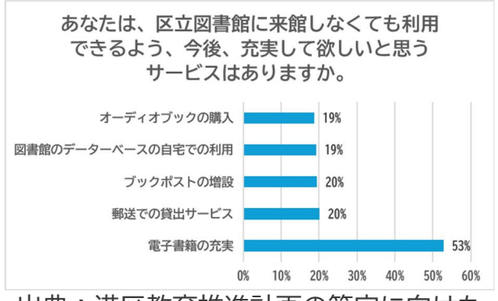
レファレンスカウンター



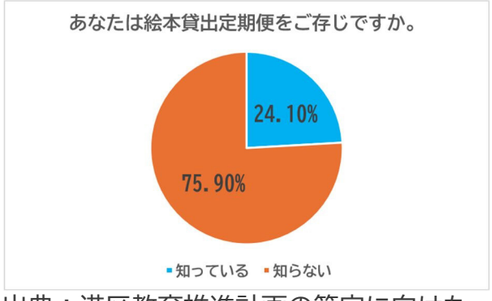
予約資料受取棚

― 現状 ―

来館しなくても利用できるサービスへの需要の高まり	絵本貸出定期便をはじめとする子ども向け事業の認知不足
来館しなくても利用できるサービスへの関心が高いです。	子ども向け事業をより利用してもらうため、多くの子育て世帯に取り組みを知ってもらうことが必要です。



出典：港区教育推進計画の策定に向けたアンケート調査（図書館サービス分野）



出典：港区教育推進計画の策定に向けたアンケート調査（図書館サービス分野）

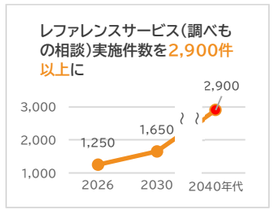
― 基本方針 ―

１　一人ひとりの学びに寄り添う図書館サービスを充実します

区民の主体的な学びを支えるため、レファレンスサービスや調べ学習支援など、図書館の専門性を生かしたサービスをより一層充実します。

方針

・電子資料を含めた多様な方法による図書館資料の充実
・図書館の専門性を生かした多様な学びの支援

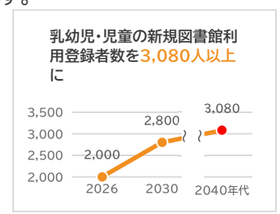


２　子ども・若者の読書体験と学びを充実します

子どもの頃から本や図書館に親しみ、成長やライフステージに応じて読書や学び続けることができる環境を実現するため、サービスや情報発信を充実します。

方針

・本とふれあう環境づくり
・子ども・若者の学びの機会の充実

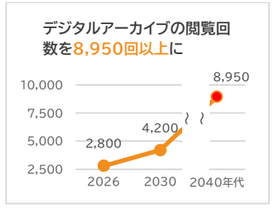


３　誰もが利用しやすい図書館サービスと環境づくりを推進します

誰もが時間や場所、障害の有無等にかかわらず図書館サービスを利用できる環境を実現するため、図書館における DX や利用者支援、様々な主体との連携を推進します。

方針

・図書館における DX の推進
・誰もが利用しやすい図書館サービスの提供
・人が集い、つながる図書館の場づくり



【レファレンスカウンター】調べたいことや探している資料などのご質問について、必要な資料・情報をご案内する場所。
【レファレンスサービス】調べたいことや探している資料などのご質問について、必要な資料・情報をご案内するサービス。図書の所蔵の有無はもとより、関連資料のご紹介や他機関所蔵資料の探し方の案内、新聞記事や雑誌記事、論文などの探し方の案内。
【デジタルアーカイブ】インターネットを通じて、「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」、所蔵物の目録情報の検索、資料のデジタルコンテンツの閲覧、印刷、ダウンロードが可能なサービス。

■施策５

一人ひとりが自分にあった学びを選び、安心して学び続けられる環境をつくる

― 目標 ―

誰もが自分にあった学びを選択し、環境や状況にかかわらず安心して学び続けられる環境を実現します。



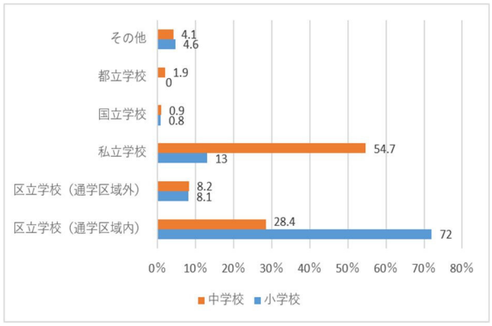
海外留学支援事業



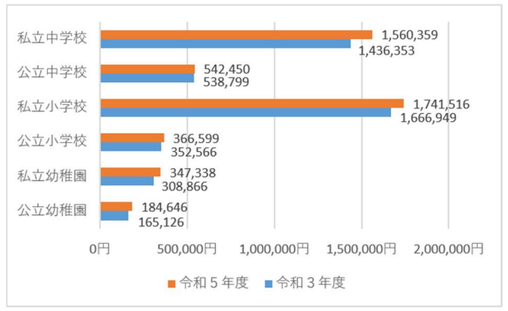
郷土歴史館展示物

― 現状 ―

多様な教育機会への関心	教育費に対する負担
子どもや保護者が多様な教育機会の中から自分にあった学びを選択する傾向が高まっています。	教育費は家庭にとって負担となっており、家庭の経済状況にかかわらず学び続けられる環境づくりが求められています。



出典：学校選択の状況「通学する学校の状況」（小学生）　教育推進計画区民アンケート（令和 7 年度）を基に作成



出典：文部科学省　「子供の学習費調査」（令和 3 年度及び令和 5 年度）を基に作成

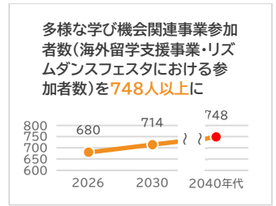
― 基本方針 ―

1　成長段階に応じた自分にあった学びを選べる機会を充実します

多様な教育機会への関心やニーズの高まりに対応するため、子どもが自分にあった学びを選択できる機会を充実します。

方針

・子どもたちの多様な学びの機会の創出
・私立学校等との連携による情報発信の充実
・多様な教育ニーズに対応した教育環境の整備

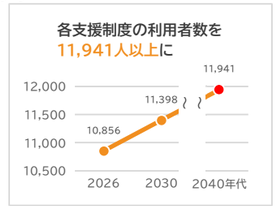


2　誰もが安心して学び、成長し続けられる環境を整備します

教育費に対する負担やニーズの高まりに対応するため、家庭環境に左右されず、誰もが安心して学び、成長し続けられる環境を整備します。

方針

・安心して学び続けるための経済的支援の充実
・子どもの成長と将来への挑戦を支える環境の整備
・文化財の保存と活用の推進



【教育分野】分野を横断した取組

子ども・子育て分野

子どもの成長を切れ目なく支える教育環境の整備

幼児期から義務教育修了までの育ちと学びをつなぎ、一人ひとりの状況に応じた学びや相談支援を充実するとともに、家庭や地域と連携して、子どもが安心して成長できる教育環境を整えます。

主な取組
・保幼小の連携の推進による「架け橋期の教育」の充実
・子どもや保護者が安心して生活できる相談機能の充実
・PTA 等の社会教育団体による家庭教育に関する学びの機会の支援

福祉・保健分野

学びやスポーツを通じて誰もが健康で暮らせる地域づくり

誰もが学びやスポーツに参加できる機会を充実し、健康づくりや社会参加、人とのつながりを支えることで、ウェルビーイングの向上と地域共生社会の実現に貢献します。

主な取組
・だれでも学べる機会の提供事業の充実
・障害者のスポーツ参加の機会の充実
・介護予防総合センター等と連携した介護予防や健康増進のための取組の実施

街づくり分野

地域への愛着と誇りを育み、地域を支える人材の育成

地域の歴史・文化や身近なまちについて学ぶ機会を充実するとともに、学校、家庭、地域が連携して子どもの安全と学びを支えることで、港区への愛着を育み、地域を支える人材を育成します。

主な取組
・安全な通学環境の確保
・自分たちのまちについて考え、知識を深める体験学習「子どもセミナー事業」の実施
・郷土歴史館の展示を通じた資料の活用

環境・リサイクル分野

持続可能な社会を担う子どもたちの育成

気候変動や資源循環、生物多様性などの環境課題について学び、日々の生活との関わりを考える機会を充実することで、持続可能な社会づくりに主体的に参画する力を育みます。

主な取組
・学校給食等を通じた環境への理解の促進
・環境などの知識を深める体験学習「子どもセミナー事業」の実施
・海洋環境等に関する図書館資料・情報の充実

防災・危機管理分野

防災について学び、自ら考え行動できる力の育成

安全安心な教育環境の整備並びに学校や地域における防災の学びを通じて、子どもや区民が災害時に必要な情報を得て、行動する力を育むとともに、家庭での備えや地域での支え合いにつなげます。

主な取組
・安心・安全で新しい時代の学びに対応した魅力ある教育環境の整備
・防災を含む生涯学習出前講座の実施
・災害・防災に関する図書館資料・情報の充実

産業・地域振興分野

未来の地域社会と産業を支える人材の育成

職場体験、地域企業等との連携を通じて、子どもや若者が多様な生き方・働き方を考える力を育むとともに、区民の学び直しや事業活動に役立つ学習・情報支援を充実します。

主な取組
・地域企業等と連携した出前授業や職場体験場所の充実
・学び直しやスキル習得に関する情報の提供
・ビジネス支援等のための情報提供の充実

実現をめざして

区民が描いた将来像の実現を支える。
分野別政策を横断して推進する政策を掲げます。

8 人権・多様性
9 行政経営

※各施策の基本方針における成果指標には見込値を含みます。

8 人権・多様性

政策８

多様な価値観を尊重しながら誰もが平等に参画できる地域社会を実現する

平和、人権といった基本理念を尊重し、多様な価値観を認め合い、区民の誰もが、性別や国籍、出身地、障害の有無などによる差別を受けることなく参画できる地域社会を実現します。



ポイント

価値観や生き方が一層多様化する社会を見据え、一人ひとりの人権と尊厳を基盤に、誰もが自分らしく選択し、地域社会に参画できる施策を推進していきます。

成果指標

「人権・多様性」について満足している区民の割合

現状値（令和 8（2026）年度）	目標値（2040 年代）
43.1%	向上

出典：「MINATO ビジョン策定に向けた区民等意識調査報告書（区民）」（令和 7(2025)年 8 月）を基に作成

施策体系

政策　多様な価値観を尊重しながら誰もが平等に参画できる地域社会を実現する

- 施策①　平和を尊重する想いを、未来を担う次世代へつなげる
- 施策②　人権が尊重され、性別等にかかわらず全ての人が参画できる社会を実現する

関連計画

港区男女平等参画行動計画

関連計画の詳細

■施策１

平和を尊重する想いを、未来を担う次世代へつなげる

― 目標 ―

戦争・戦災の記憶を風化させることなく、一人ひとりが平和について考える機会を継続的に創出します。



港区平和青年団の長崎への派遣

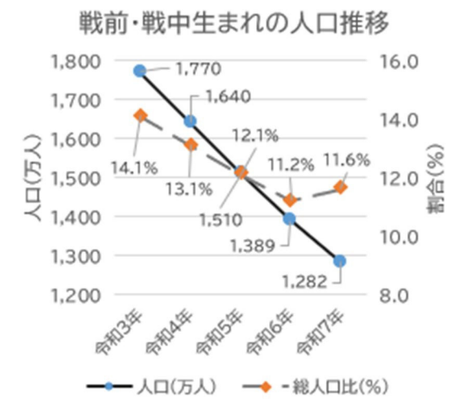


戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝える「平和の灯」

― 現状 ―

戦争・戦災体験の語り部が減少	国際社会の緊張の高まり

令和 7(2025)年には戦後 80 年が経過し、戦争・戦災体験者の高齢化が進んでいます。今後、一層語り部の減少が見込まれることから、平和への想いを継承する取組の見直しが求められています。



出典：総務省統計局「人口推計」及び「令和 7 年国勢調査結果」を基に算出

世界各地で紛争や武力衝突が続くなど、国際社会を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、平和の尊さを次世代へ継承していくことの重要性が高まっています。

世界平和度指数ランキング(2026)

前年差＝2026年スコア－2025年スコア(＋は悪化、－は改善／数値が低いほど平和)

順位	国	2026 (令和8)年	2025 (令和7)年	前年差(+/−)	判定
1位	アイスランド	1.161	1.095	+0.066	悪化
2位	ニュージーランド	1.343	1.282	+0.061	悪化
3位	スイス	1.363	1.294	+0.069	悪化
4位	スロベニア	1.369	1.409	-0.040	改善
5位	アイルランド	1.371	1.260	+0.111	悪化
6位	オーストリア	1.421	1.294	+0.127	悪化
7位	ポルトガル	1.427	1.371	+0.056	悪化
8位	シンガポール	1.435	1.357	+0.078	悪化
9位	フィンランド	1.478	1.420	+0.058	悪化
10位	**日本**	**1.479**	**1.440**	**+0.039**	**悪化**

出典：Institute for Economics & Peace（経済平和研究所）「Global Peace Index 2026」（2026 年）を基に作成

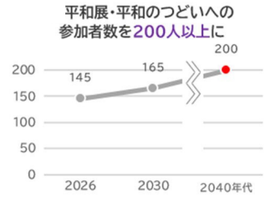
― 基本方針 ―

1　戦争・戦災体験を学び、平和への想いを継承します

▶ 戦争・戦災体験談を直接聞く機会が限られていくことを見据え、これまで蓄積してきた記録等の継承方法を検討します。

方針

・デジタル技術を活用した戦争・戦災体験の保存
・AI などの新たな技術を活用した情報発信
・平和関連事業など様々な機会を捉えた記憶の継承

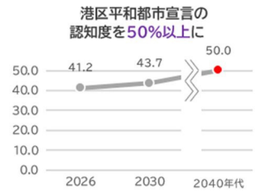


2　港区平和都市宣言の理念を伝え続けます

▶ 昭和 60(1985)年に行った港区平和都市宣言の理念を、様々な機会を通して発信し、区民とともに平和への想いを共有します。

方針

・平和事業の実施機会を捉えた港区平和都市宣言の積極的な周知
・区刊行物への港区平和都市宣言掲載による周知

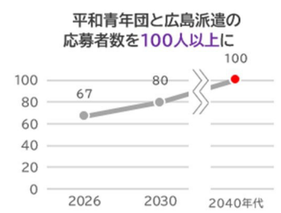


3　若年層の平和事業への参画を促進します

▶ 平和への想いを次世代へ継承するため、子どもや若者が主体的に学び、活動に参画し、発信する機会を充実します。

方針

・子どもや若者が主体的に平和を学ぶ機会の創出
・若年層が参画する平和事業の充実
・次世代を起点とした平和への想いの共有と発信



【港区平和青年団】区内在住、在勤、在学の高校生世代を対象に、被爆地への派遣研修など、戦争や平和に関する研修や活動を通じて、主体的に平和を築く意識を醸成する事業。
【平和の灯】「港区平和都市宣言」から 20 年を記念し、区立芝公園に設置したもの。ここに灯された「火」は広島市の「平和の灯（ともしび）」、福岡県八女市の「平和の火」、長崎市の「ナガサキ誓いの火」をあわせたもの。

■施策２

人権が尊重され、性別等にかかわらず全ての人が参画できる社会を実現する

― 目標 ―

一人ひとりの人権が尊重され、区民の誰もが立場や性別等にかかわらず差別されることなく、互いに理解し尊重し合う共生社会を実現します。



人権週間における啓発活動

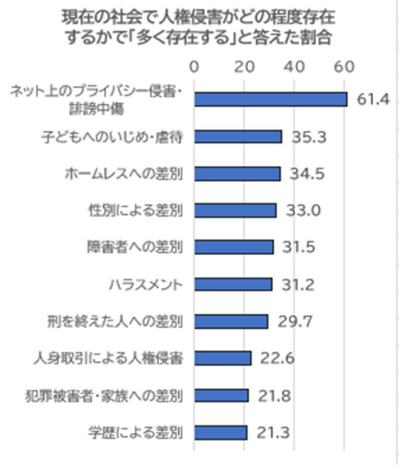


男女平等推進の拠点施設・男女平等参画センター



― 現状 ―

人権課題への継続的な対応の必要性	日本における男女平等の進展の遅れ
法整備などにより、人権尊重に向けた取組が進む一方、インターネット上の誹謗中傷など、様々な人権課題が依然として存在しています。	日本は、世界経済フォーラムが発表した令和８(2026)年の「ジェンダー・ギャップ指数」において145か国中117位であり、国際的に見ても男女平等の進展に課題がある状況です。



出典：人権に関する区民意識調査

日本のジェンダー・ギャップ指数の推移

年	日本の順位	対象国数
令和4年	116位	146か国
令和5年	125位	146か国
令和6年	118位	146か国
令和7年	118位	148か国
令和8年	117位	145か国

出典：世界経済フォーラム「Global Gender Gap Report」（各年）を基に作成

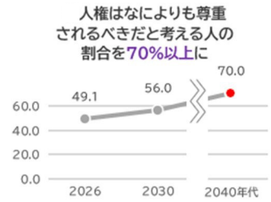
― 基本方針 ―

1　人権課題への理解を促進し、人権に対する意識を高めます

▶ 一人ひとりが人権を身近な問題として捉え、様々な人権課題への理解を促進するため、情報発信や講座・講演会など、学習機会を充実します。

方針

・多様な人権課題に関する情報発信の充実
・区民が学びを深める講座・講演会等の実施
・人権週間等を捉えた啓発活動の推進

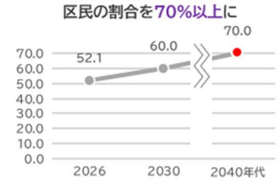


2　性別等にかかわらず、誰もが自分らしく生きられる地域をつくります

▶ 性別に基づく固定的な役割分担意識の解消や性の多様性への理解を促進し、性別等にかかわらず活躍できる共生社会の実現のため、啓発を進めます。

方針

・審議会等への女性の参画促進
・男女平等に関する学習機会の充実
・SOGIE に関する理解の促進

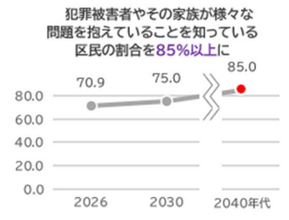


3　犯罪被害者等が安心して暮らせるよう支援します

▶ 犯罪被害者やその家族が必要な支援を受けられるよう、相談体制の整備や支援の充実に取り組みます。

方針

・犯罪被害者等に寄り添う相談体制の整備
・犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むために必要な支援の推進
・犯罪被害者等が置かれている状況等に関する理解の促進



9 行政経営

政策９

限られた経営資源を最大限に生かし、持続可能な行政経営を実現する

社会情勢や区民ニーズの変化に柔軟に対応し、最先端のデジタル技術も積極的に活用しながら区民サービスの質を高めます。
区民や企業など地域の力を結集し、ともに新たな価値を生み出すことで、地域共創の姿を体現し、明るく活力にあふれる区を実現します。



ポイント

人材や財源など限られた経営資源を最大限に生かし、ＡＩやデータを活用するとともに、区民、企業、全国各地域などの多様な力を結び付け、新たな価値を創出する施策を推進していきます。

成果指標

「行政経営」について満足している区民の割合

現状値（令和 8（2026）年度）	目標値（2040 年代）
45.3%	向上

「行政経営」を構成する項目	満足度
デジタル化	59.2%
区の情報公開・発信	63.2%
区民の声の反映	33.2%
区の経営	37.3%

出典：「MINATO ビジョン策定に向けた区民等意識調査報告書（区民）」（令和 7(2025)年 8 月）を基に作成

施策体系

政策　限られた経営資源を最大限に生かし、持続可能な行政経営を実現する

- 施策①　社会変化への迅速な対応と政策形成を推進する
- 施策②　持続可能な財政運営と公共施設管理を推進する
- 施策③　行政ＤＸと開かれた信頼される区政を推進する
- 施策④　全国各地域・企業等とともに、地域課題の解決と新たな価値創出を推進する
- 施策⑤　人材確保・育成と働きやすい職場環境を推進する

関連計画

関連計画の詳細

港区公共施設マネジメント計画

港区職員の働きやすい職場づくり推進計画

■施策１

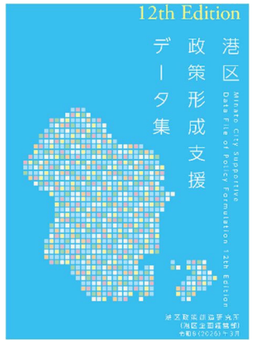
社会変化への迅速な対応と政策形成を推進する

― 目標 ―

社会変化や区民ニーズを的確に把握・分析し、区民参画と多様なデータの利活用を基盤とした政策形成を推進することで、迅速かつ効果的な区政運営を実現します。



イノベーションラボにおける
政策提案プレゼンテーション

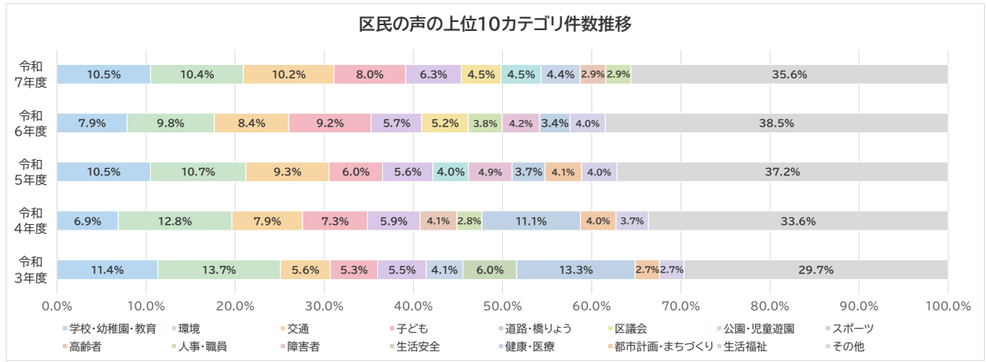


港区政策形成支援データ集

― 現状 ―

多様化する区民ニーズと幅広い世代の声の把握の必要性

区民意見は年間 3,000 件を超え、「学校・幼稚園・教育」「環境」「交通」が常に上位を占めています。意見を的確に分析するとともに、幅広い世代の声を把握し、政策形成に生かしていくことが求められています。



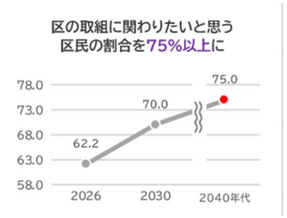
― 基本方針 ―

1 多様な区民の声を政策に的確に反映します

区民の意見や生活実態を踏まえた区政運営を推進するため、多様な区民の声を聴き、施策・事業へつなげる仕組みを強化します。

方針

・あらゆる世代の区民の声を反映した施策・事業の検討
・区の意思形成や事業執行等に係る積極的な区民参画の推進
・デジタルツールを活用した新たな意見収集手法の拡充

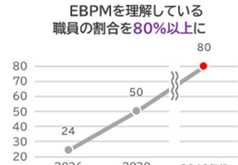


2 証拠に基づく政策形成と事業見直しを徹底します

必要なサービスを適切に提供するため、証拠に基づく政策形成、事業の進捗管理と見直しを徹底し、改善の仕組みを確立します。

方針

・区が保有しているデータの「見える化」や利活用の推進
・EBPM を理解し、データを有効に利活用できる職員の育成
・効果的・効率的な行政評価による PDCA サイクルの適切な運用



【イノベーションラボ】子ども・若者が「研究員」となり、自らが関心のある区の課題について多様な主体と連携しながら研究し、政策提案を行う取組。
【EBPM】エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案の略。政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとすること。
【PDCA サイクル】「Plan（計画）→ Do（実行）→Check（評価）→ Action（改善）」という一連のプロセスを繰り返し行うことで、業務などの改善や効率化を図る考え方の一つ。

■施策２

持続可能な財政運営と公共施設管理を推進する

― 目標 ―

将来人口や社会情勢を見据え、行政サービスを持続的に提供するため、磐石な財政基盤の堅持や迅速かつ柔軟な財政運営、公共施設の戦略的活用を推進します。





大規模改修工事を行った白金台いきいきプラザ等複合施設（左：ロビー、右：遊戯室）

― 現状 ―

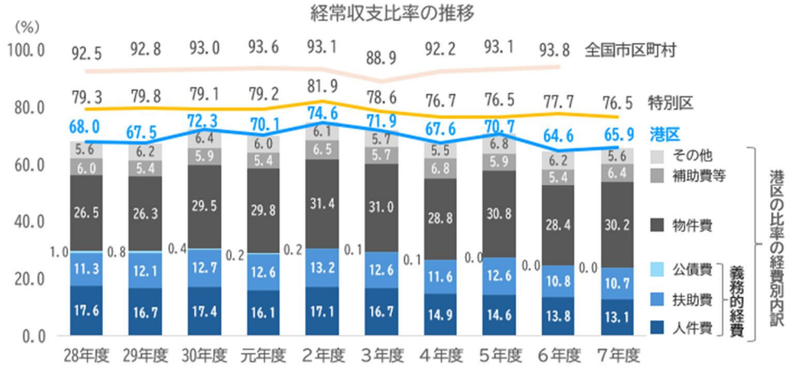
磐石な財政基盤を安定的に堅持している状態が続いている

計画的な基金の積立てや後年度に過度な負担を残さない財政運営により、磐石な財政基盤を堅持しています。



財政の弾力性を維持している

経常的な経費の節減やあらゆる財源確保に努め、財政の弾力性を維持しています。



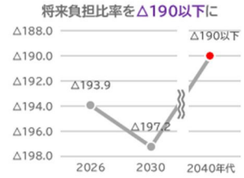
― 基本方針 ―

１　施策を支える磐石な財政基盤を堅持します

質の高い行政サービスを将来にわたり持続的に提供していくため、持続可能な財政基盤を堅持するとともに、あらゆる方策を講じて財源の確保に取り組みます。

方針

・将来世代に負担を残さないための計画的な基金の積立てと活用
・納付方法の多様化と適正な債権管理の推進
・国、東京都等の補助金に係る情報収集と積極的な活用

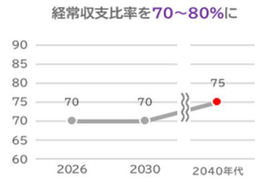


２　迅速かつ柔軟な財政運営を行います

社会経済情勢や区民ニーズの変化を的確に捉え、行政課題に迅速かつ柔軟に対応するため、機動的な予算編成及び適切な予算執行を推進します。

方針

・区民ニーズの変化を捉えた迅速な政策調整と補正予算の編成
・早期の事業着手や切れ目のない事業執行のための予算制度の活用
・経常的経費の節減やあらゆる財源確保による、財政の弾力性の維持

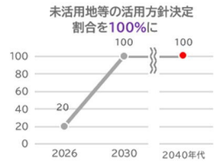


３　将来需要を見据えた質の高い公共施設の整備と活用を行います

人口増加や人口構成の変化に伴う施設需要の増大に的確に対応し、充実した行政サービスを継続するため、土地・建物の戦略的な有効活用を推進します。

方針

・人口将来予測や施設の利用実態を踏まえた公共施設需要の的確な把握
・複合・集約化等による分野横断的な施設の戦略的活用
・国公有地・民有地の取得や定期借地、民間物件の活用



【該当する計画事業】

28. 飯倉いきいきプラザ大規模改修	P. 223	32. 赤坂コミュニティーぷらざ大規模改修	P. 227
29. 南麻布いきいきプラザ等大規模改修	P. 224	33. シティハイツ港南等大規模改修	P. 228
30. 青山いきいきプラザ大規模改修	P. 225	34. （仮称）芝五丁目共同プロジェクト	P. 229
31. 豊岡児童館等大規模改修	P. 226	35. 元麻布三丁目複合施設整備	P. 230

【将来負担比率】地方債残高や退職手当の支給予定額等、区が将来負担すべき実質的な負債（充当可能な基金を除く。）が標準的な状態で通常収入されるであろう特別区税などの経常的な一般財源の規模に対する割合。将来負担比率が負の値の場合、統計上は「-」となるが、実際の算定値を記載している。
【経常収支比率】人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。
【基金】一般家庭で言う預金に当たり、普通地方公共団体が条例の定めるところにより、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設ける財産。

■施策３

行政ＤＸと開かれた信頼される区政を推進する

― 目標 ―

デジタル技術の活用と戦略的な情報発信により、誰もが必要な情報やサービスに便利かつ安心してアクセスでき、区政への理解が深まる環境を実現します。



令和７年度ＤＸ推進リーダー任命式



港区電子申請ポータル画面

― 現状 ―

誰もが使いやすいオンライン申請環境の整備の進展	デジタル活用による業務削減時間の拡大

オンライン申請の利用は増加しており、誰もが迷わず安心して利用できるよう、より分かりやすく使いやすい環境づくりを進めています。

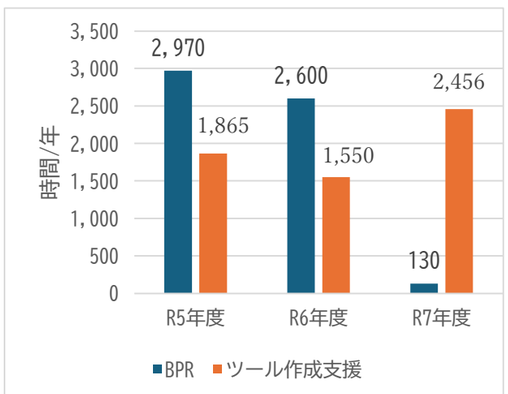
オンライン申請数の実績と見込み

区分	合計	LoGo フォーム	マイナポータル	LINE
令和５年度実績	51,754	24,308	21,150	6,296
令和６年度実績	212,278	166,971	31,116	14,191
令和７年度実績	237,509	183,969	34,666	18,874
令和８年度見込み	269,700	202,700	44,400	22,600

※単位：件

BPR による業務改善に加え、各職場での生成 AI を活用したツール作成支援の需要が高まり、デジタル技術を活用した業務効率化をさらに進める必要があります。

業務削減時間の実績



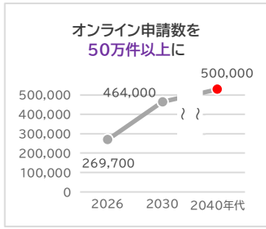
― 基本方針 ―

1　便利で使いやすいデジタル行政を推進します

▶ 誰もが必要な情報や手続に分かりやすくアクセスできる環境を実現するため、利用者目線に立って案内や申請の仕組みを使いやすくします。

方針

・分かりやすく使いやすいオンライン申請環境の整備
・区民に分かりやすい情報発信と多言語対応・案内機能の強化

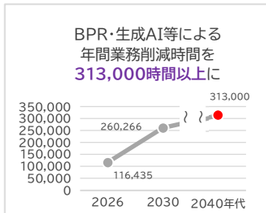


2　質の高い行政サービスを提供します

▶ 利便性の高い行政サービスを安定的に提供するため、情報セキュリティを確保しながら、業務改革を加速します。

方針

・BPR と AI 活用による事務作業の削減と企画・改善に充てる時間の確保
・生成 AI・RPA 等を活用した定型業務の効率化と自動化の推進
・情報セキュリティ対策と適切な AI 活用の徹底

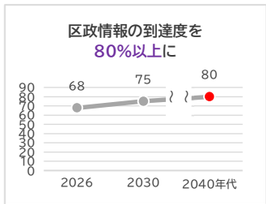


3　区民に伝わる戦略的広報を推進します

▶ 区民にとって必要な情報が分かりやすく届く環境を実現するため、適切なタイミングと媒体を組み合わせ、専門性を生かした効果的な情報発信を進めます。

方針

・事業の段階や対象に応じた情報発信の推進
・様々な広報媒体を組み合わせた効果的な情報発信
・広報戦略支援員の専門性を生かした広報体制の強化



【BPR】BPR（Business Process Re-engineering）とは、業務の本来の目的に向かって既存の業務プロセス全体を見直し、職務、業務フロー、組織や制度、情報システムなどを再構築する業務改革のこと。
【生成 AI】生成 AI（Generative AI）とは、学習したデータをもとに、文章、画像、音声、動画、プログラムコードなどの新たなコンテンツを生成する人工知能技術のこと。
【RPA】Robotic Process Automation の略。人間がコンピューターを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替すること。

■施策４

全国各地域・企業等とともに、地域課題の解決と新たな価値創出を推進する

― 目標 ―

地域課題の解決や区民サービスの向上のため、全国各地域や企業等とのネットワークを強化します。



区と全国各地域の子どもたちの交流

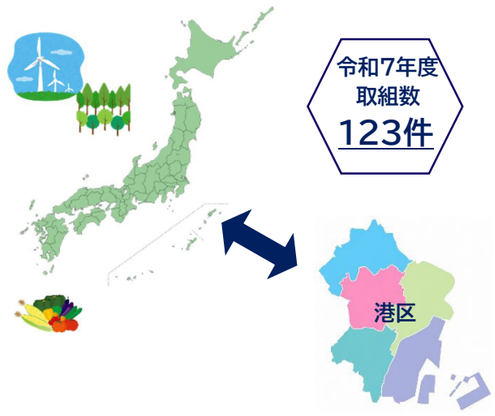


区の課題を全国各地域や企業等とのマッチングにより解決する取組

― 現状 ―

全国各地域との連携・協創の取組が着実に拡大	区内企業等との協働が活発化
令和 7(2025)年度の全国各地域との連携・協創の取組数は、123 件となりました。互いの地域の課題解決につながるよう、継続的な関係の構築が必要です。	新規提案は例年 50 件以上寄せられ、令和 7(2025)年度の取組数は 130 件を超えています。取組をより大きな成果へと結び付けていくことが重要です。

全国各地域との連携・協創の取組数



区内企業等の現況



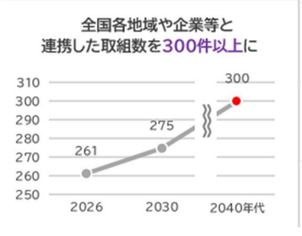
― 基本方針 ―

1　相互の資源と強みを生かした協働の取組につなげます

▶ 地域課題の解決や区民サービスの向上につなげるため、全国各地域や企業等との関係を築き、協働の取組につなげます。

方針

・全国各地域とのネットワークの拡大と連携関係の構築
・地域課題の解決及び新たな価値創出につながる企業等からの提案の促進
・全国各地域や企業等との関係性の継続と、連携による取組の多様化・深化

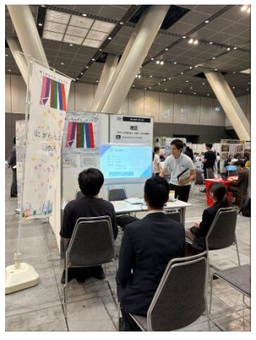


■施策５

人材確保･育成と働きやすい職場環境を推進する

― 目標 ―

区政を発展させることができる有為な人材から選ばれ、誰もが活躍できる職場環境を整備することで、質の高い行政サービスを提供できる職員体制を構築します。

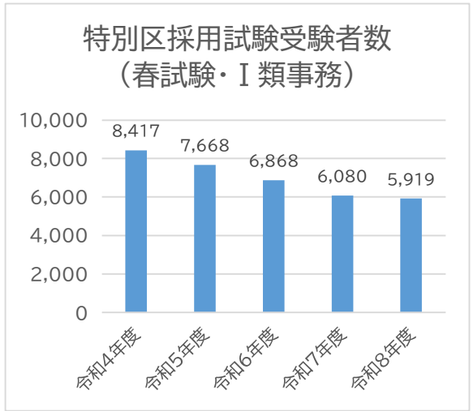


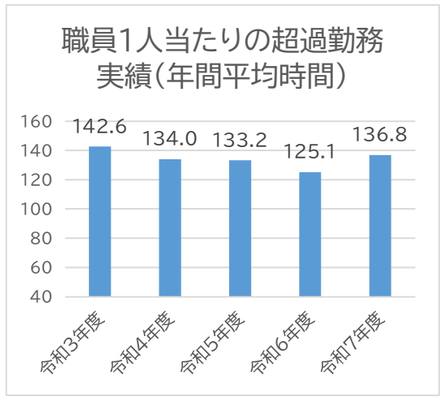
就職説明会の様子

採用公式インスタグラムアイコン

― 現状 ―

職員採用を取り巻く環境は厳しさを増している	職員一人ひとりの超過勤務の縮減が求められている
特別区採用試験の受験者数は年々減少しており、区政を支える人材を計画的に確保していくためには、区の仕事の魅力を分かりやすく発信していく必要があります。	職員の超過勤務は年間平均 130 時間程度で推移しており、多様な人材の活躍を支える環境を実現していくためには、働きやすい職場づくりを進める必要があります。





出典：特別区人事委員会事務局任用課「特別区職員採用試験（選考）実施状況」を基に作成

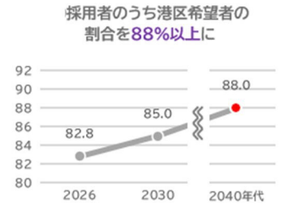
― 基本方針 ―

1　多様な知識・経験等を有する人材を確保します

▶ 幅広い層から有為な人材を確保するため、採用広報を強化し、新規学卒者や若手人材だけでなく、経験者や外部人材の活用など、多様な人材を惹きつける採用活動に取り組みます。

方針

・ＳＮＳや採用広告等を活用した職員採用広報活動の強化
・経験者採用制度等を活用した職員採用と障害者雇用の推進
・民間企業、他団体からの派遣受入れ等による外部人材の活用

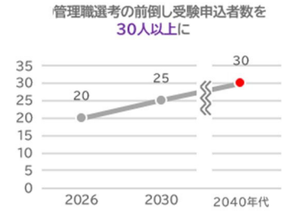


2　職員の成長を支援し、区政の未来を支える人材を育成します

▶ 行政課題に対して的確に対応できる執行体制を整備するため、成長機会の充実を図り、新たな職務・職責に挑戦する人材の育成に取り組みます。

方針

・職員が成長と働きがいを実感できるジョブローテーションの推進
・区民を取り巻く環境の変化や災害発生時に的確に対応できる知識、経験を培う機会の確保
・昇任意欲の醸成と組織をけん引する職責や政策・施策の実現に挑戦する人材の育成

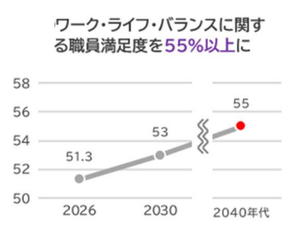


3　職員の誰もが働きやすい職場づくりを推進します

▶ 職員が持てる意欲と能力を発揮し、求められる職責を果たすため、将来にわたって多様な人材の活躍を支える持続可能な職場環境の整備に取り組みます。

方針

・ライフステージに応じた多様で柔軟な働き方の推進
・組織活力と公務能率の向上に資する職場環境の整備
・部門を越えた組織連携や職員間のコミュニケーションを促進する職場づくり



【ジョブローテーション】職員を定期的・計画的に異なる部署・職務へ異動させ、幅広い知識の習得や経験を積ませる能力開発、人材マネジメント手法のこと。